

競技注意事項

1. 規則

- ①競技は2024年度（一財）日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項に準ずる。
- ②競技に使用するシューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）は、WAシューズリスト承認であること。
- ③スタートルールに関しては、日本陸上競技連盟規則TR16.7の項目により以下の通りとする。
音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの、除外を行うものではない。
- ④フィールド種目については、3回の試技をもって終了とする。

2. 練習について

- ①練習は、競技場内走路および競技場外周で行い、一般の方がいることを忘れず、危険防止に十分注意して行うこと。
- ②フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の手配により競技場内で行う。
- ③駐車場等でのウォーミングアップ、投てき練習は禁止する。
- ④バックストレートでの練習は競技に支障のない限り認める。
- ⑤8:50まで競技場内を練習に開放する。それ以降は競技場内走路、競技場外周、バックストレート等を使用すること。

3. 招集について

- ①招集場所は、メインスタンド裏に設ける。
- ②招集時間及び完了時間に関しては下記の通りとする。

トラック種目

第一次招集 開始	第一次招集 完了
競技開始 35分前 開始	競技開始 20分前 完了

フィールド種目

第一次招集 開始	第一次招集 完了
競技開始 45時間前 開始	競技開始 30分前 完了

トラック種目

第二次招集 完了
競技開始 10分前 完了

フィールド種目

第二次招集 完了
競技開始 15時間前 完了

- ③招集は2回で、上記の時刻までに競技者本人（代理人は認めない）が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。招集確認を受けた競技者は、競技者係の指示に従い、スタート地点・フィールド試技待機場所へ行き、係の点呼を受ける。招集に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- ④全ての競技者は、自身の競技用上衣に装着したアスリートビブスを係に提示し、確認を受ける。
*100m、200m、400m、100H、110mH、4×100mR、走幅跳、及び砲丸投種目の競技者は、競技に使用するシューズがWAリスト承認（または靴底厚さ測定値が規定内）であることの確認を受ける。
*WAシューズリスト以外の場合、800m以上のトラック種目に関しては、靴底厚さが25mm以内であることを確認を行います。
*各確認完了競技者は競技者係の誘導・指示により、スタート位置に移動する。なお、アップ時の

着衣等は持参した用具袋にまとめ、係りから指示された場所に置き、スタート待機する。

*全てのトラック競技者には確認完了後、写真判定用『腰ナンバー標識』を配付する。リレー種目は第4走者のみ。この写真判定用『腰ナンバー標識』は競技終了後、その場で回収します。

4. 入退場について

- ①競技場への入場についてはマーシャルの指示に従う。
- ②トラック競技は、ゴールしたのち速やかに各校の待機場所に戻る。
- ③フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で退場する。

5. 競技用シューズについて

本競技会は、競技者が日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 に適合したWAシューズリストで承認されている市販のシューズを競技に使用していることを前提としているので、参加者全員のシューズチェック（検査）は実施しない。

<シューズに関する主要規則の確認>

- *靴底厚さは、フィールド種目と 800m未満は 20mm以内、800m以上の種目は 25mm以内。
- *靴底は、11本以内のスパイクを取り付けられる構造。
- *11個までの任意のスパイクを使用することができ、その取り付け位置は11ヶ所を超えない。
- *スパイクの長さは、9mm以下（走高跳は12mm以下）、その長さの1/2が4mm四方の定規に適合するように作られたもの。
- *購入した状態で使用することが前提で、インナーソールの変更等、靴底の厚さが変わるカスタマイズはWAの事前承認を得たもの。

原則として、WAリスト承認外（または靴底厚さ測定値が規定外）シューズの場合、競走・試技は認められません。競技前・中に審判員が疑義を抱いた競技用靴に対し、競技後に審判長の権限で検査をすることがあります。シューズ規則（TR5.2）規定外のシューズを使用し競走・試技した場合、指導・失格（参考記録として連絡）扱いとします。

6. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは、千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定で、本年各支部に割り当てられたものを使用する。（男子は白地に黒色数字、女子は白地に赤色数字）
- ②アスリートビブスは、胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり、曲げたりしてはならない。ただし、跳躍種目については1枚を胸につける。
- ③小学生及び一般用のアスリートビブスは、胸に付ける一枚（安全ピンを含む）のみ主催者が大会参加費納入時に配布します。回収はしません。

7. 800mのスタート方法について

本競技会において、男女の共通 800mにおいてはセパレートレーンスタートを採用する。スタート後自分のレーンを走り、100m過ぎの地点からオープンレーンとなる。なお、その際ブレイクラインを区別する黄色の代用縁石をまたいだり、踏み越したりしてはならない。

8. 3000mのスタート方法について

本大会は、3000mにおいて一斉スタートを採用する。グループスタートの方法は、各組のレーン番号の2/3までがインスタート、残りの1/3がアウトスタートとなる。なお、その際スタート10m以内にはイン・アウトを分離する縁石はおかない。

9. フィールド競技の試技時間

フィールド競技の試技時間は1人60秒以内とする。

10. リレー競技について（リレーオーダー用紙は招集所に準備）

- *リレー競技のオーダー用紙は、その競技の招集完了時刻の10分前までに、団体受付に提出する。なお、オーダー用紙は団体受付に準備、またはホームページのPDFを印刷して使用する。
- *リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- *リレーのマーカの使用は1カ所（TR24.4を適用）とし、各中継点の係が配布する。なおマーカは主催者が準備したものとする。

11. 計時

- ①トラック種目の競走競技は、すべてのレースにおいて写真判定装置を採用する。
- ②写真判定装置は、同一記録の場合0.001秒での着差判定を行う。
- ④競技記録判定が確定次第、随時記録結果発表を行います。記録の掲示はQRコードを読み取り、自分で確認できるようにする。後日決勝・記録一覧表をホームページに掲載する。

12. レーン及び走路順

- ①トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
- ②セパレートレーンで行う競技で、全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけて第2レーンより使用する。

13. 用器具

すべて競技場備え付けのものを使用すること。

14. 抗議

日本陸上競技連盟、競技規則規則TR8による。

15. その他

- ①競技場内には、選手及び生徒のみ通行可能とする。保護者の観戦はスタンド（メインスタンド・バックスタンド）のみとする。
- ②各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。
- ③ゴミについては必ず各自で持ち帰ること。競技場、駅などに絶対に捨てないこと。
- ④競技場内のメインスタンド・バックスタンド椅子席に陣地（ブルーシート）を張ることは禁止する。
- ⑤応援は各陣地での待機場所のみとし、声を出してもよい。
- ⑥正面スタンド下（本部前）は通行禁止とする。（スタンドを通過して競技場所に移動する）
- ⑦プログラム記載内容の訂正は、8:10までとする。記載事項の訂正のみとするものとし、組数や種目の変更、新たな追加等は主催者側の番組編成の誤り以外は受け付けない。役員打ち合わせは、8:20からメインスタンド下本部前で行う。
- ⑧競技中に発生した事故及びケガ等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑨公園内及び野球場は借用していないので、立ち入らないようにすること。
- ⑩一般のお客様もいますので安全に注意して行うよう努めていくこと。

競技注意事項（小学生用）

1. 規則：2024年度（公財）日本陸上競技連盟規則に準ずるが、学童である年齢段階を考慮した教育配慮のもとに競技を行う。
 - ① スパイクシューズは使用してもよい。但し必ずオールウェザー用のピンを使用する事。
 - ② トラック種目は、全てタイムレース決勝とする。
 - ③ 100m・4×100mRのスタートは、クラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックを使用しなくても構わない。
 - ④ リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 - ⑤ リレー競走に出場する選手のユニフォームは同一デザインでなくても良い。
 - ⑥ 同記録（1/1000の有意差は見る）が同記録の場合は同着とする。
 - ⑦ 走幅跳は全員3回の試技とする。
 - ⑧ スタートのコールはイングリッシュコールとする。また同一競技者が2回のフライングをした時には失格となるがレースは参加できる。但し該当選手の順位は付かず、記録はオープン扱いとなる。
 - ⑨ 招集におくれたものは棄権とみなし、出場を許さない。
 - ⑩ 招集開始および完了時刻はタイムテーブルを参照のこと。
2. アスリートビブス
 - ① アスリートビブスは、受付時に受け取る。
 - ② アスリートビブスは、1枚をユニホームの胸のみに結着する。
 - ③ 腰ナンバーカードもトラック競技においては全て使用する。
3. リレー競技について
 - ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を招集所に時間厳守で提出すること。
4. レーン
 - ① 100m・4×100mRは、セパレートレーンで行う。
 - ② セパレートレーンで行う競技で全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけ第2レーンより使用する。
5. 表彰
 - ① 優勝・2位・3位の者には賞状・メダルを6位までに入賞したものには、賞状を授与する。（なお、リレー表彰状の記名については走順の4名とする。）
6. 表彰式
 - ① 6位までに入賞した選手は表彰が整いしだいアナウンスで通告する。表彰式は行いません。
 - ② 受け取り場所は、1階正面玄関から競技場内に入った右側
7. 選手受付（学校・クラブは代表者、個人申込者は、本人または保護者）
 - ・陸上競技場1階正面玄関から競技場内に入った右側で行うので、引率者(代表者)は大会参加費を納入してください。その後、所定の物品(アスリートビブス)を受領すること。
8. その他
 - ・開門は7時00分に開始する予定ですが、人数、及びその日の天候により決定する事とする。（必ず競技役員より指示します）
 - ・トイレはメインスタンド裏の2箇所を開放する。選手・保護者は2箇所のみを使用すること。
 - ・競技場内(競技中は、バックストレートのみ使用)での、ウォーミングアップは競技に支障が無いようにする。
 - ・ホームストレート側本部席からフィニッシュライン付近の、役員室前のアウトフィールド部分の通行を禁止とする。
 - ・貴重品は勿論、タオル、帽子、シューズ等を忘れたり、盗難防止には十分留意すること。
 - ・競技中に発生した事故などについては応急措置を主催者で行うが、以後の処置は各チームで対応すること。
 - ・室内では、スパイクシューズを絶対にはかないこと。
 - ・ゴミについては各自で責任を持って持ち帰ることを原則とする。
 - ・上記以外の内容は、一般・中学生用の「競技注意事項」も参照すること。